

事業名 CD	0102010201	広聴広報事業	
細分化した事業名	広報事業		
事業担当課室 CD	100300	企画財政課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	人が集う交流のあるまちづくり
	中項目	市民と行政の協働によるまちづくり
	小項目	開かれた行政の推進
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	ガイドブックやインターネット、有線放送などの情報媒体を活用し、市政情報の発信につとめる。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民全般
これまでの改善経過	市政レポート(市長所信表明)・市勢ダイジェストの製本廃止 H11 市ホームページの開設 H13 各種情報ページの追加 H18 市ホームページリニューアル H20 電算サーバーの入れ替えを機に、業者委託による市ホームページの再リニューアル
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 □補助金 □その他()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ガイドブック～市庁舎案内や市政情報の紹介冊子を、転入者に配布。 ・有線放送(声の広報)～有線加入者に対し、毎日(朝・夕)の放送時(開始時・終了時)に市からの行事情報等を提供。 ・市ホームページ～インターネット閲覧者への情報発信。 ・まちづくり懇談会～市内各種団体との市長対話。 ・市勢要覧～市制施行55周年記念事業。市内全世帯へ配布。(平成20・21年度)
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	市政情報を広く市民に周知することにより、開かれた行政運営と市民生活の充実を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	6,678	3,001	630
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,678	3,001	630
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.30	0.44	0.39
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,073	3,002	2,956
D	総事業費(A+C) (千円)	8,750	6,003	3,586
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	337 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	市民ガイドブック発行部数	(部)	800	800	800
	市勢要覧発行部数	(部)	—	13,000	—
成果指標	有線放送加入世帯数	年度末加入世帯数(世帯)	2,751	2,575	2,532
	市ホームページアクセス件数	アクセスカウンター	231,164	263,190	278,438
	市民ガイドブック配布部数	転入世帯数	780	763	780
	市勢要覧配布部数			11,204	720
効率指標	まちづくり懇談会開催件数		1	3	1
	市勢要覧1部当たりの作成費用(円)	印刷製本費 / 発行部数 2,363(千円) / 13,000部	—	182	—

〈事業を自己評価〉

妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない (事業の手段・活動は妥当ですか)
成果	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない (意図した成果が上がっていますか)
効率性	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない (コストを見て効率的ですか)
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	(1) 中長期的 ・市ホームページのコンテンツ(情報の充実) ・見やすく、わかりやすい情報検索体系の構築 ・定期的かつ細部にわたる更新の徹底
	(2) 24年度 広報誌による定期的な情報発信とは別に、市民生活の充実につながるタイムリーな情報発信の手段として、市ホームページの効率的な運用に努める。
	(3) 23年度 広報誌による定期的な情報発信とは別に、市民生活の充実につながるタイムリーな情報発信の手段として、市ホームページの効率的な運用に努める。
	22年度の改善計画 利用者が必要とする情報にアクセスしやすい階層体系(リンク含む)の構築につとめ、タイムリーかつ細部にわたる更新を行う。
	22年度の改善結果 トップページの新着情報枠を有効活用することで、迅速かつわかりやすい情報発信に努めた。
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
課長所見	市政情報を発信するにあたり、より多くの市民に周知するため、様々な媒体を利用することが必要であり、告知等では市HPのトピックスが有効活用されている。市HPの各分野の情報量にバラツキがあり、周知すべき情報をより多く掲載するよう各課指導が必要である。